

うえだ 環境市民会議 News

第58号

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

上田市役所新庁舎見学会

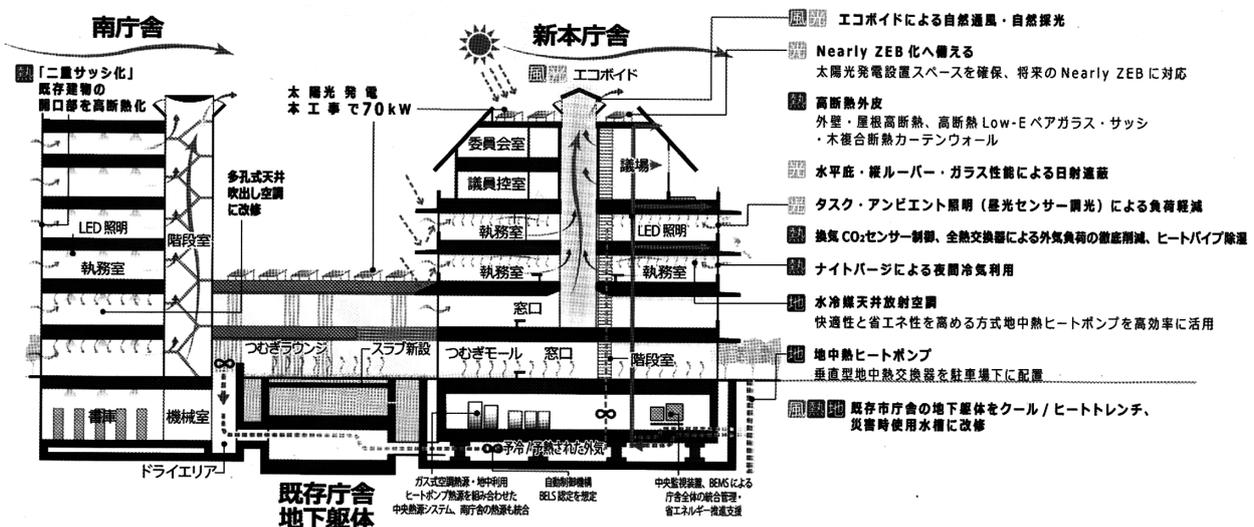
うえだ環境市民会議 議長 竹内 秀夫

10月4日に上田市役所新庁舎見学会をうえだ環境市民会議が開催したところ、21名の方にご参加頂き、どうもありがとうございました。

長野県は気候危機を乗り越えるため、持続可能な脱炭素社会づくりを基本目標に、温室効果ガス排出量を2030年までに

60%削減（2010年比）することを目指しています。そのためには、ガソリン車を電気自動車や燃料電池自動車に転換し、新築建築物のZEH（ゼッチ：ゼロエネルギーハウス）、ZEB（ゼブ：ゼロエネルギービルディング）化を実現する必要があります。ZEBには、エネルギーの使用量に対する削減量が50～75%は「ZEB Ready」、75～100%は「Nearly ZEB」、100%以上は「ZEB」と段階があり、環境省により認証されます。見学会では、市職員の丁寧な説明で、

上田の気候風土を活かすサステナブルデザイン（イメージ）



ZEBのハードルが高いことがよく分かりました。エコボイドと呼ばれている2階から屋上までの吹き抜けにより、自然通風・自然採光等のパッシブ技術によってエネルギーの需要を減らし、高効率の空調やLED照明等のアクティブ技術によってエネルギーを無駄なく使用し、本庁舎と南庁舎への連絡棟の屋上に載っている太陽光発電パネル70kWで電力を供給するという工夫がされているにもかかわらず、エネルギー使用量の10～15%しか賄っていないそうです。現在工事中の地中熱を利用したシステムが完成すれば、空調のエネルギー使用量をさらに抑えることができるそうで、早く「ZEB Ready」の認証が受けられるといいのですが。

うえだ環境フェアを終えて

うえだ環境市民会議 山口 春香

コロナ禍の中、4年ぶりに「エシカル消費からめざそう！脱炭素」をテーマに「第35回うえだ環境フェア」が10月15日に開催され、19団体が出展されました。当うえだ環境市民会議は「パネル展示と環境クイズ」に取り組み、クイズには、自然エネルギーシフト、SDGs、ごみ減の各プロジェクト・チームが出題され、ご来場の皆様は熱心に説明に耳を傾けてくださいました。

多くの感想は、クイズの「地球温暖化の一番の原因は、人間による温室効果ガスの排出です。家庭からの二酸化炭素排出の割合が一番高いのは、次のうちどれでしょうか？

①照明、家電製品などから、②自動車から、③暖房から」。答えは①の「照明、家電製品などから」には、口々に説明を聴くまでは、「自動車だと思っていた。」と話され、驚きと共に反省の声が多く聞かれました。

また、「各プロジェクト・チームの表示は日常生活に密着しており、それぞれの説明は分かりやすくとても良かった。」「良い勉強と反省ができた。」「できることから実行したい。」等々、好評でした。



「環境をよくしたい人大集合」 のお知らせ

各種団体の1年間の活動報告をみんなでシェアしましょう。

日時：12月17日（土）

13：30～16：00

会場：上田中央公民館3階大会議室

参加費：無料

